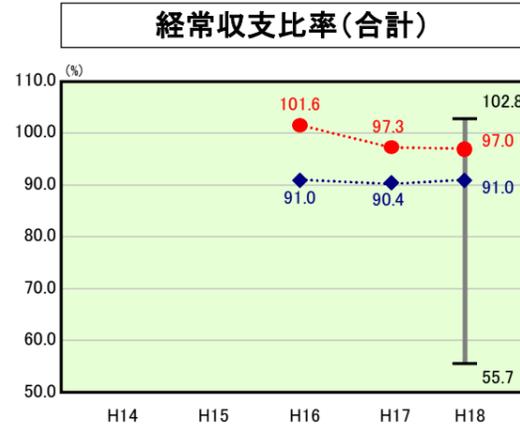


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

大分県 豊後大野市

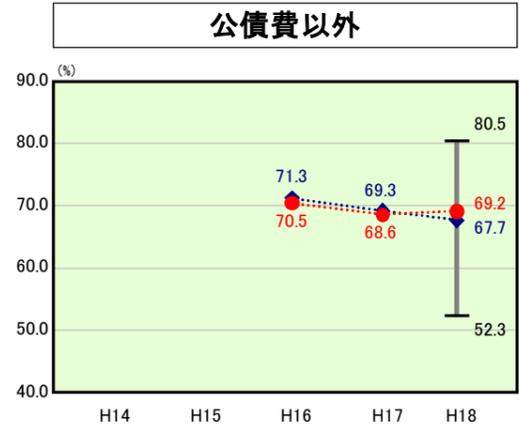
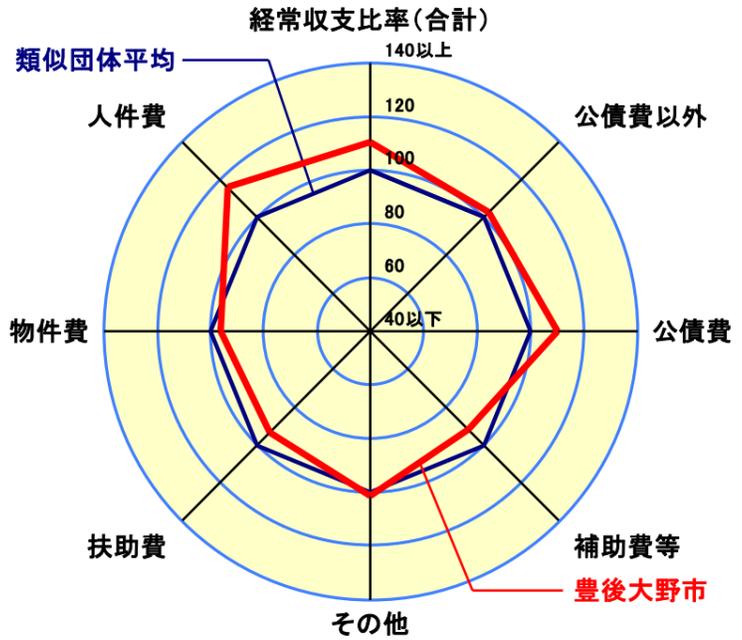
経常収支比率の分析



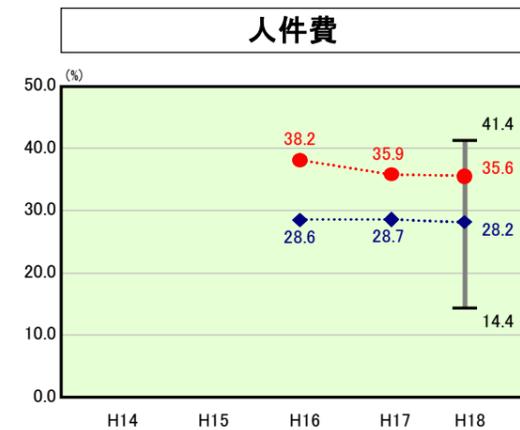
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▾

人口	42,383 人(H19.3.31現在)
面積	603.36 km ²
歳入総額	28,985,805 千円
歳出総額	27,496,605 千円
実質収支	1,384,245 千円

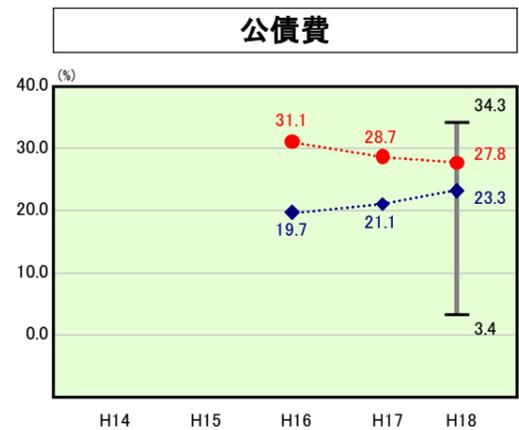
H18類似団体内順位 78/87
全国市町村平均 90.3
大分県市町村平均 92.5



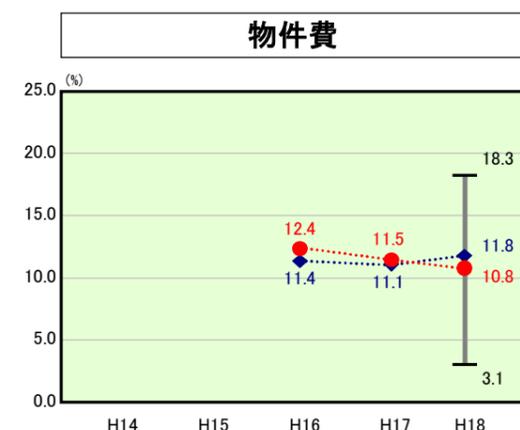
H18類似団体内順位 49/87
全国市町村平均 70.5
大分県市町村平均 70.9



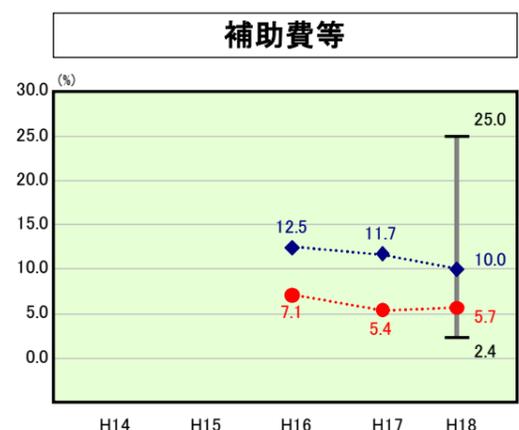
H18類似団体内順位 83/87
全国市町村平均 28.2
大分県市町村平均 33.0



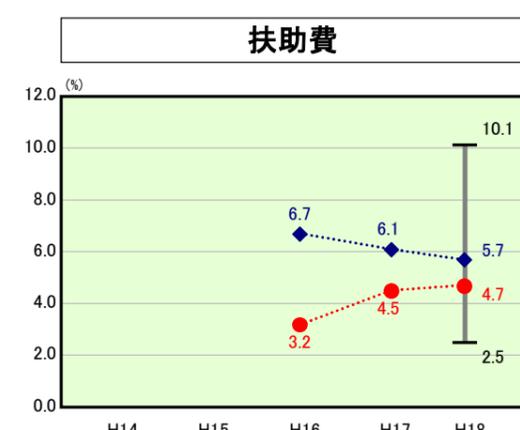
H18類似団体内順位 77/87
全国市町村平均 19.8
大分県市町村平均 21.6



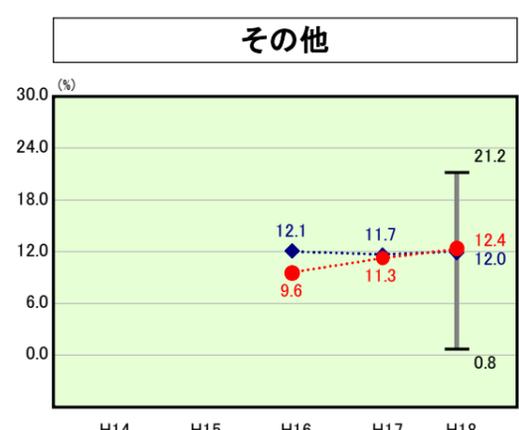
H18類似団体内順位 34/87
全国市町村平均 12.9
大分県市町村平均 11.6



H18類似団体内順位 18/87
全国市町村平均 10.2
大分県市町村平均 5.8



H18類似団体内順位 23/87
全国市町村平均 8.6
大分県市町村平均 7.9



H18類似団体内順位 49/87
全国市町村平均 10.6
大分県市町村平均 12.6

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄
 <経常収支比率>
 人件費については平成18年1月から市長10%、副市長、収入役及び教育長7%の引き下げ、一般職員は平成18年4月から5%の引き下げを実施。議員報酬についても5%の削減、その他管理職手当等の引き下げ実施等により人件費の削減を行っている。
 本市は七つの町村が合併したことにより、職員数は類団最大値に近い位置にある。安易に職員数を減少させることで行政サービスの低下を招くことのないように留意しながら、早急に定員適正化計画の策定に取り組む。
 また、平成18年度より一部の施設において指定管理者制度を導入しているが、まだ多くの施設は直営で運営を行っている。今後は民間でも実施可能な部分については委託化を進め、コストの削減を図っていく方針である。施設の管理運営については、旧町村単位で同様の施設を多く抱えているとともにどの施設も老朽化しており、修繕料等の多額の維持管理費を要する。このため施設の統廃合を検討し本市の財政規模にふさわしい施設管理運営を行うことが喫緊の課題である。
 扶助費については、類団平均より1ポイント下回るもの特に単独扶助費の伸びが顕著であるため、今後は資格審査等の適正化による抑制を図る。
 公債費については、類団平均より4.5ポイント高く経常収支比率の数値を高めている主たる原因である。現在、繰上償還を実施したり、起債シーリングを設定し抑制に努めている。
 補助費等については、類団平均より4.3ポイント低く、これまで補助金制度の見直しを行い統合廃止を行った成果だといえる。しかし、今後は公営企業や第3セクターの経営状況も厳しく一般会計からの補助金も増加していくと推測されるので、これらの経営健全化を図ることが重要である。